

新型コロナウイルスに関する市民の声

福岡市民クラブに寄せられた声について、4月10日（金）までに届いたものを、「新型コロナウイルス感染症に関する声」「学校休業等に係る教育・子育て分野に関する声」「外出自粛等に伴う経済への影響に関する声」の3項目に区分し、次の通り示す。

＜目 次＞

I. 新型コロナウイルス感染症に関する声	・・・	1
1. 新型コロナウイルス感染症に対する理解について	・・・	1
2. 感染拡大防止について	・・・	1
3. 医療体制について	・・・	2
4. 風評被害や人権侵害などのコロナウイルスの影響について	・・・	3
II. 学校休業に伴う教育・子育て分野への声	・・・	4
1. 子どもの居場所に関する声	・・・	4
2. 学校教育の遅れ等に関する声	・・・	6
3. その他	・・・	6
III. 外出自粛等に伴う経済への影響に関する声	・・・	6
1. 休業要請と企業への影響について	・・・	6
2. 休業等に対する支援や補償について	・・・	9
3. 市政に対する声	・・・	10

I. 新型コロナウイルス感染症に関する声

1. 新型コロナウイルス感染症に対する理解について

- ・罹患した場合、隔離から治療・退院まで、どのような手順でどれくらいの期間を要するのか、指定病院はどこなのかを示してほしい。
- ・「人が集まるリスク」の認識が徹底していない。市としてもこれまで危機感に乏しかったのではないか。若い人がクローズアップされがちだが、全市民へ徹底して周知してほしい。
- ・志村けんさんのお兄さんがご遺体と面会できなかったとテレビで知った。あまりに非情である。
- ・子どもが罹患して入院となった時が心配。親も面会が制限される。子どもを一人で入院なんてさせられない。
- ・4日間の自宅待機とは、期間の設定として妥当なのか。

2. 感染拡大防止について

(1) マスク・消毒液等の予防品について

- ・2月中旬以降、とにかくマスクが手に入らない。いつになったら流通しだすのか見通しも立たず不安。国が布マスクを2枚配布するとしているが、効果的な策なのか疑問もある。
- ・少なくともマスクとアルコール消毒液については、市場への供給の見通しを示してほしい。
- ・娘がファミレスでバイトしているが、マスク支給もなく、安心して仕事ができない。自分たちでマスクを用意しようにも手に入らない。大学生もアルバイト先が休業し、収入が減少している世帯もあるのでは。
- ・「咳エチケットのための手作りマスク」「消毒用アルコールがない場合の消毒・除菌」プリントを全世帯に配布してほしい。高齢者の多くがHPを見られないし、区役所や公民館などに行くことが少なく手に入らない。

(2) 接触軽減のための措置・外出自粛等について

①自治会活動と公的施設の閉館について

- ・公的施設を閉鎖しても民間がそれに準じなければ結局意味がない。公民館が心の拠り所になっていた高齢者は楽しみを奪われた形になっているが、民間施設が営業していることによって感染を封じ込めないのであれば、なんのための公共施設の閉鎖か。
- ・自治協や町会の総会が開けず、新会長への引継ぎや新年度活動の目途が立たない。また、紙面による意見の集約や委任状の回収などを行っているため、業務量が増加して大変。
- ・公民館は5月6日まで閉館となったものの、総会シーズンのため書面での投票BOXの設置などの対応を公民館主事が対応せざるを得ない状況になっており、接触をはかることになっている。
- ・一人ひとりに余裕がなく、町内の課題に取り組めない。このような地域の空白が今回のコロナ騒動で重大な問題にならないか不安。

②未就学児童に関することについて

- ・福岡市の乳幼児健診は集団型なので不安。北九州市のように個別型にしてほしい。
- ・子どもたちの面倒を見てもらうために祖父母に来てもらったり、実家へ行かせたりしているが、

そもそも高齢者に感染したらと思うと怖いし、双方疲弊している。

- ・買い物など人の多いところに子供は連れて行きたくないが、見てくれる人も限られている。

③その他

- ・自粛要請に伴って極力外出しないようにしているが、外に出ないと人と会うことができない。具合が悪くならないと外に出られないというのは辛い。自分の健康のためにも自粛の必要性は理解できるが、これが長引くと孤独で寂しい。
- ・不要不急の定義が曖昧。緊急事態宣言が出たからと言って、どのようにすればいいのか分からない。
- ・朝はバスや電車の乗車率は減っているが、マイカー通勤・自転車通勤が増えていて、道路を歩く人はむしろ増えている気がする。特に自転車が増えて事故になりそうで怖い。
- ・東京にいる大学生の子どもをこっちへ避難させたい。
- ・気管系の持病があるものとしては、ドラッグストアや病院に行くのも怖い。薬局のドライブスルーがあれば良い。スーパーのレジで「間隔をあけて並ぶ」ことができていないので、誘導をしっかりとしてほしい。

(3) 相談窓口について

- ・発熱した際コロナの相談窓口(福岡市)へ電話したがなかなか繋がらなかった。
- ・外国籍住民への多言語での情報提供を徹底して欲しい。外出自粛はもちろんのこと、給付金のことなども。

3. 医療体制について

(1) 現場からの声

①医療現場

- ・専門の発熱外来を市内数か所に設置すべき(長崎に事例)。風邪だと思って来院されて、その後の検査の結果で当該患者に陽性反応が出ると、外来封鎖される。それが立て続けに各病院で起こると、そもそも診療するところなくなるし、病院経営も苦しくなる。
- ・マスクと消毒アルコールが不足している。また、医療現場ではラテックスグローブを使用する頻度が多いが、患者ごとに取り換えるので消費が激しい。最近は患者のキャンセルが多いが、心理的・経済的要因がともにあると思う。
- ・本日(4/10)、福岡市からマスク 200 枚が現場に届いた。しかし、今後も感染者は増えるばかりで、院内感染が不安な毎日。アビガンはいつ使えるようになるのか?薬やワクチンの早期開発・使用を心待ちにしている。
- ・医療現場は限界。患者も減り、経営が危うい。医師、看護師達のボーナスも出ないかも。それは絶対におかしい。

②介護の現場

- ・老人ホーム、デイサービス、訪問介護の事業を運営している。自分たちの施設から罹患者が出た場合、職員は自宅待機となるが、行き場のない施設利用者(高齢者)はどうなるのか?そもそも、本当に施設を閉鎖できるのか?現場は毎日、戦々恐々としている。

- ・施設での家族面会を1か月以上禁止にしている為、入居者、家族双方に対し心苦しい。
- ・娘が障害児のデイケアをしている。休みたくてもやすめない。この様な事業所で働いている人を把握して欲しい。もとよりパートで低収入なので、収入が減っても補償の対象にはならないだろうし、陽性にでもなったら自己責任と言われるのか。
- ・マスクや消毒液の確保が必要不可欠であり、医療現場が優先されることは承知しているものの、何とか支援をしてもらいたい。

(2) 感染症に対する処方について

①検査・治療薬等について

- ・福岡市でもPCR検査の実施数を増やせないのか。一日200検体は少なすぎる。
- ・BCGがコロナ対策として有効であるとの情報が流れたため、出荷調整が始まったと聞いている。定期予防接種を受けなくてはいけない子どもが受けられなく可能性がある。自治体としてしっかりと確保してほしい。
- ・3歳の子供が熱で、4日間待機させられ、その間に家族に感染しないかとても怖かった。早く、検査をしてほしい。

②病床の確保に関する声

- ・重症者対応を重視する方向へシフトするとなっているようだが、福岡市も同様の対応となるのか。
- ・東京都では軽症者はホテルなどの宿泊施設での隔離になると聞いている。福岡市も同様の対応はできないか。
- ・福岡市の病院の受け入れ態勢に余力があるのか不安。家で待機する場合は、台湾や韓国みたいに軽症グッズとか渡されるのか？
- ・北九州市は民間ホテルを借り上げるという発表がされていたが、福岡市では調整しているのか。確保できた際には、発表してくれれば安心できると思われる。

(3) その他

- ・持病(肝硬変)を持ち、定期的に通院しているが、感染の恐怖がある。医院等の消毒などを徹底して「感染の危険性はない」との告知が欲しい。
- ・発熱等で、まずコロナを懸念するのは理解できるが、重篤な病気等を見逃すことがないように、診察してほしい。

4. 風評被害や人権侵害などのコロナウイルスの影響について

- ・DVに関する相談が増えてきている。
- ・公園で遊んでいる子どもに「帰れ」と怒鳴る人(近隣の住民?)がいる。
- ・喧嘩をしたことがなかった夫婦が、自営業を自粛する、しないでコロナ感染に関してもめごとが多くなったとの相談が増えている。
- ・外出自粛なので、虐待、DVがひどくなっている家庭もあるに違いないが、今、家族を守る事しか出来ない自分に無力感を感じている。

II. 学校休業に伴う教育・子育て分野への声

1. 子どもの居場所に関する声

(1) 学校に関する声

- ・共働きで子どもが3人（中学生・小学生）いるが、働いている間に実際に子どもたちが何をしているのかが分からず不安。自分たち以外にも、定期的に生活や学びの進捗を図る仕組みを学校主導で作ってほしい。
- ・子どもたちの運動の機会を確保したいが、公園に出ると目立ってしまう。
- ・教科書配布日に多数の人が集まることが心配。
- ・子どもも親も、ストレスが溜まっている。小学校の校庭開放禁止や予定されていた校区の中学生スポーツ大会も中止となり、また、中学校の部活動の大会について中止や延期になるのか、見通しが立たず今から心配である。学年を曜日ごとに振り分けるなどして、運動場で思いっきり走り回らせてあげたい。
- ・1日、2日でもいいから出校日を設定してほしい。
- ・コロナ終息後、前学年の未学習分や新学期の学習時間確保として、土曜学習や夏休み短縮が言われているが、子どもたちにとっては「今は休み」と思っていない。子どもたちにとって、休みとは自由に思いっきり遊べること、夏休み短縮などは慎重に検討してほしい。
- ・情緒面に課題を持つ子どもは、家庭内でのストレスに耐えられない。一日も早く学校を再開してほしい。
- ・学校再開の際は、マスクや消毒液はどうするのか、心配である。
- ・TSUNAGARU Cloud（つながるクラウド）は、家ではインターネットが繋がらないため利用できない。インターネットを利用できても、親が仕事に使っているので同時の利用は難しく、仕事を優先しなければならない状況である。
- ・夏休みを短く、なくしてしまえばいい。

(2) 留守家庭子ども会に関する声

- ・留守家庭子ども会に加入している児童はグラウンドを使えるのに、加入していない地域の児童は使えない。彼らを追い返すたびにやるせない気持ちになる。
- ・留守家庭子ども会の受け入れ先で感染者が出た場合、当該学校は、最低2週間程度は完全閉鎖になると聞いている。しかし、その際の児童の行き場はどうなるのか？当局はそのことを想定しているのか？その日の業務が始まる時、「今日も児童みんなが元気そうで本当に良かった」という安堵と、「今日の活動で感染者が出ないだろうか？」という不安を感じながら毎日過ごしている。
- ・入学式を迎えるまでは「小学生」扱いにならないため、保育園卒園後から小学校入学式までの間、留守家庭子ども会では校庭の利用制限など不都合がある。
- ・結局、子供たちはどこにいれば安全なのか。留守家庭子ども会も子どもが大勢いて不安だし、どうしていいか分からない。
- ・留守家庭子ども会は「放課後に預かる場」ではなく「放課後でも学べる場」としてほしい。保育園と違って内容が乏しすぎる。民間に委託するとしてももっとノウハウをもった、多様なプログラムを実施している民間学童もある。

- ・これだけ学校休業が長引くと親子共々ストレスで疲弊する。共働きでなくても留守家庭子ども会に預けられるようにしてほしい。
- ・留守家庭子ども会は6年生までが利用可としていながら、ほとんどが小3でやめてしまっている。内容の充実を図り、高学年の子ども達も充実した時間を送れるプログラムを考えてほしい。
- ・留守家庭子ども会は弁当持参となっている。せめて長期休業中は給食の食品ロスをなくすためにも給食の提供や、または弁当の外部委託を可とするなどの対応をしてほしい。
- ・留守家庭子ども会は、学校休業中は8時から開所となるが、新1年生は一人で歩いていくのはまだ難しい。保護者が一緒に連れていくことになるが、8時開所だと始業時間に間に合わない人もいる。柔軟に対応してほしい。
- ・留守家庭子ども会のお陰で助かっている。指導員の先生方が仕事しやすい環境を整えてほしい。携帯電話は導入されたが、パソコンの数等十分でないと思う。また、指導員の先生方にも手当をつけてほしい。
- ・新年度に入り新入生が増えるため、留守家庭子ども会での受け入れが人手不足で手一杯。
- ・留守家庭子ども会指導員が疲弊している。子どもたちの健康管理とともに、スタッフ自身も感染の恐怖と戦っている。市の方針等の発表が指導員には事前に示されないまま進み、ニュースで知ることとなり必要な準備ができていない。
- ・パートが週に2～3日では学童保育の対象にはならない。完全な共働きでなくても預けられるように柔軟な対応をしてほしい。
- ・放課後等デイサービスは、留守家庭と同じく少人数対応で継続している。利用人数が少ないと、経営は苦しい。

(3) 保育園・幼稚園に関する声

- ・保育園では厚労省から職員に1枚ずつマスクを頂いた。今は手作りマスクで対応できているが、アルコール消毒液が手に入らないのが悩み。放課後等デイサービスの事業所でも3月上旬からフル稼働しており、職員は疲弊している。
- ・認可保育園は一か月で2週間欠席すると退園扱いとなってしまう。子供を他県の実家に疎開させているが、退園は困るので感染リスクを背負ってまで1日通わせることになる。このシステムはどうにかならないものか。
- ・3蜜の中、不安を感じながら働く保育士の休みが更に取りにくい状況。
- ・基本子どもたちはマスクをしていないので、感染は時間の問題だと感じる。
- ・保育園の預け入れについて、なるべく自宅保育をしてほしい旨のアナウンスがあったが、業務継続を求められているのは医療機関や保育や介護従事者だけではない。暮らしを支えているライフラインをはじめ、食料品や医薬品を提供しているスーパーやドラッグストアも営業継続を求められており、保育園の活用は必須であることを理解してもらいたい。

(4) その他

- ・ファミサポがあるといってもこの状況で一般の家庭にお願いするのは負担。
- ・低学年の子どもを家に置いたまま親は生活維持のための買い物や通院もできない。
- ・子どもを一日中家に留守番させたまま、仕事に行かねばならない。
- ・子どもの面倒を見ながら在宅ワークなどできるわけではない。

- ・一時預かり保育は未就学児までなので、新1年生で学童入所要件にあてはまらない子どもの行き場がない。
- ・小さな子どもたちの成長、発達を支える場がほとんどなくなっている。今の状況下では仕方のないこととはいえこれが長く続けば身体的な発達だけでなく、小さな子どもたちのことばや自我等、精神的な発達が阻害されるのではないかと気になっている。

2. 学校教育の遅れ等に関する声

- ・中学1年生の娘と小学4年生の息子がいるが、とにかく時間を持て余している。妻が家で面倒を見ているものの、パンク寸前ではないか。遠隔授業をしてもらえることが理想だが、それが無理ならば自宅でも順序だって自学できるようなオンライン教材を準備してほしい。
- ・小中学校におけるオンライン教育を実施してほしい。そのために、生活困窮世帯のWi-Fi環境整備や通信代補助など、市が独自にできないものか。
- ・学校休業期間が長引いているため、子どもの学習の遅れや各家庭での学習格差が生じることが懸念される。家庭にタブレットを支給し、学校と遠隔でつなぎ授業を行う「テレストディ」を実現してほしい。
- ・ただ休みだけで子どもの学習の機会が奪われている。
- ・現在の休み中にも学力の差が出てしまっているのでは？アメリカみたいに、入学式9月・卒業式8月にしてはどうか？

3. その他

- ・福岡市が勧めている見守りサービスは非常に使い勝手がわるい。携帯会社のみまもりケイタイのGPSの方がよっぽど使える。全市で子どもを見守る取り組みとしてはよいと思うが、使えないものでは意味がない。なぜGPSでないものを採用したのか。
- ・子供たちのストレスが心配。
- ・子どもたちがウイルスに関する絵本に興味を示すようになった。この機会を今後の衛生教育に生かしている。
- ・コロナで学校が休校になっているので、自衛隊名簿提出への除外申請の周知が対象者へ届かない。

III. 外出自粛等に伴う経済への影響に関する声

1. 休業要請や外出自粛による企業への影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する声（業種別）

【飲食・サービス業】

- ・緊急事態宣言以降、飲食店は本当に苦しそう。通常の半分以上は休業しているのではないかと。福岡の魅力である飲食店舗を救うために、これら飲食店の弁当販売や宅配を促進する支援策を検討すべき。
- ・緊急事態宣言以降、飲食店がテイクアウト仕様に切り替わってきている。これらの食材を市民に届けられる仕組みができないか？例えば、一か所に弁当（食材）を集めて、ドライブスルー形式で市民が購入できたり、地域の飲食店が作った料理の配達を促進できたりするような施策を求めたい。

- ・以前から持ち帰り商品がある為、テイクアウトの需要が伸び、売り上げはむしろ上がっている。
- ・急遽テイクアウトを始めてみたが、認知されていない為売り上げUPには繋がっていない。
- ・遠出を避け近場で済ませたいという需要のせい不明であるが、むしろ新規のお客さん(地元客)が増えた。
- ・感染のリスクは怖い、店を閉めると売り上げがなくなる為、予防策を徹底して営業している。
- ・出張や営業に出る社員が少なくなったことが理由なのか、ランチ時は通常を上回る忙しさ。その一方で夜はめっきり客が来なくなった。
- ・毎週火曜日が定休日だが、お客さんが少なくなっているため、テイクアウトメニューも用意したが利用者は少ない、定休日を増やすか、営業時間を短縮するか検討している。
- ・「水商売」と言われる仕事をしてきたが、仕事が無くなりアパートにいるが、家賃や公共料金を払うのも厳しい。
- ・外出自粛のため、飲食業者は店を開けても客は来ない状況。普段の3割程度。店を閉めても閉めなくても家賃は発生する。店は、「自粛」のため補償が出ない。福岡市独自での支援策はできないか。
- ・飲食業をやっているが緊急事態宣言を出すと言っているが内容もしっかり決まっていなくて、補償をしてくれると言っているがどこに言えばよいのか分からない。
- ・飲食店を営んでいるが、1か月以上も店を休んでしまうと店が潰れる。再開できたとしても、その後の経営をしていくのにすごく不安がある。

【第1次産業関連】

- ・青果市場の取扱量全体から見ると、今のところ影響は見られないが、ホテルや飲食業及び学校給食への納入が著しく減少、卸売業者や小売業者の業態によっては、経営への影響が懸念される状況となっている。
- ・気温が高かったことから、春物野菜が品薄になっていることに加え、関東方面でのスーパー需要が増加し、九州産野菜が東京に吸い上げられ、大根単価 127 円（前年比 133%）、人参単価 98 円（前年比 159%）等、高値傾向になっている。
- ・商品を納める量が激減している。死活問題。本当に助けてほしい。
- ・3月28日、小川県知事の外出自粛要請後、唐泊の牡蠣小屋はお客が減少して、7日の緊急事態宣言前に閉店、牡蠣の発育状況が今年はよく、昨年分を取り返そうとしていただけに残念。
- ・博多湾内での小形底引き網漁（エビ、カレイ、スズキ、タコ等）は4月16日から解禁、料亭など飲食店が自主休業しているため、魚価が値下がりすることが懸念される。すでに玄界灘で行われている1本釣り（イカ、タイ、カワハギ等）は影響が出ている。

【不動産関連業】

- ・不動産関係の仕事だが、まず家が売れない。各家庭で在宅勤務が増えていると思うが、あまりにも期間が長いため、家庭内で不安が募り、高い買い物をしようにしているのだろう。その結果、その先の建売業者も買い控え状態。収益物件やホテルも売れない状況。不動産業界は時期に回らなくなるのではないかと。また、ホテルや大きな宴会スペースを持つ居酒屋も苦しそう。家賃交渉の相談が急増しているが、貸主側も厳しい状況なので応えられない。
- ・テナントから家賃の減額等の相談が相次いでいるが、こちらの生活もあって、すべてに応じることは難しい。

【観光関連業】

- ・観光関連産業（バス・タクシー・ホテル・飲食）が軒並み苦しそう。当該業界のために、自宅にすることを前提として「何かできることはないか？」と考える今日この頃。

【イベント関連業】

- ・3月中に受託していた公的イベント7件のうち、6事業が中止となり収入が激減した。中止に伴う補償等はない。
- ・3月中に予定されていた結婚式が中止、延期（6件中、実施は1件のみ）となり収入減となった。4月以降も見通しはたっていない。
- ・イベントのチラシなどがほとんどキャンセルになり、仕事がない。
- ・卒業式等中止の為、売上げが激減。箱など発注していたのに、置き場に困る。

【タクシー業】

- ・タクシーの売上が減少している。連日とも前年の半額以下、3/28は夜間10数時間流したが売上額は740円だった。
- ・JR通勤のビジネスマンが増え、駅前のタクシー乗り場にお客さんの姿がほとんどない。会社は、乗務員の乗車日数を減らそうとしている。

【理美容関連業】

- ・感染防止のため、外出しない高齢者が増え、来店が少ない、東京都が理容院の休業要請を検討しているというニュースを聞いたが、福岡県もそうなったら死活問題だ。

【その他】

- ・建築資材（外壁サイディング板、サッシ等）の入荷が遅れている。見通しも困難と聞かされている。
- ・障がい者就労支援B型事業所の売上収入の減少（前年同月比△30%）、消毒用アルコールやマスクの入手が困難になってきている。
- ・緊急事態宣言に基づく自粛要請は理解するが、営業活動に出かけられない状況が苦しい。
- ・患者を心配するのなら早急に休業したほうが良いのだろうが、家賃や従業員給与を考えると、営業しないとキャッシュが回らない。休業補償がなければ、個人事業主としては「休みたたくても休めない」。
- ・自社は設立34年目に入るが、突然の収入ゼロの事態は初めてのことで、2月末に官公庁からのレギュラー業務が打ち切りになった。自社でのスポーツスタジオについて、3月までは開講したが、福岡市の外出自粛要請を機に5/6までの休講を決定。社員の給与補償、およびフリーランスへの補償は既に実施しているが、現状が長引けば苦しくなる。
- ・訪問系の仕事をしているが、コロナの感染リスクを減らすために訪問の仕事を休業することになった。これからどうやって生活をしていけばいいのか、不安でいっぱいだ。
- ・事業主としては、いつまで耐えれば事業環境が好転するのか見えない中で、従業員の給与を支払って運転資金がショートして倒産するのか、または、給与をカットして会社の延命を図るのか、その判断を迫られている。例えば、全体の雇用を守るために、従業員の賃金の一部でも国から助成するという仕組みがあれば良い。また、今回のコロナ禍を機に、事業清算・売却を検討する事業主が周りに増えている。県や市として、これらをマッチングする場を設けてはどうか。

(2) リモート・テレワーク等の環境整備について

- ・企業のリモートワーク環境づくりへの支援（投資負担・資材調達支援）が急務。大手企業で在宅ワークができるのは、その下請けである小企業が末端業務をこなしているからだともいえる。元受けに対して「この時期だから難しい」と仕事を断ることも怖い。
- ・テレワークが推奨されている中、PC やプリンター等を購入する客が増加傾向にある。
- ・家庭での Wi-Fi では、通信量に限界があるため、回線利用が増えている。この機に、本格的な環境整備を進めるべきではないか。

(3) 官公庁に対する声

- ・国・県・市が自粛を要請しておきながら、特に県土整備部や市都市計画課を中心に、民間の建設コンサルに対する呼び出しが結構行われている。4 月は役所の各部署で引き継ぎのタイミングであり、そのアドバイスを行なうために出向かなければならない。直接出向かなくてもやり取りできるような体制を整えてほしい。
- ・緊急事態宣言以降、法務局が人員を減らし、外へ出での調査業務がかなり遅延するのではないかと。対応策を検討していただきたい。
- ・裁判所等の公的機関が稼働する気満々なので、仕事を休みにくい。仕事をするうえで、関連する会社（債権者・債務者・保険会社等）も動いているので休めない。

(4) その他の経済的な影響

- ・人材不足に陥っている分野では短期でも採用したいものの、外出自粛がされる中、採用活動もままならない。

2. 休業等に対する支援や補償について

(1) 事業主の声

- ・支援や給付を求めるための書類が多すぎる。13 種類くらい？
- ・保証の申請をしたいものの集めなければいけない書類が沢山ありすぎるため必要書類を減らしてほしい。今のままでは、申請などできない。
- ・融資の政策ばかりで、多額を借りて倒産する会社がふえるのでは？
- ・事業に影響がなくても、融資の政策ばかりで困る。先行きも分からない為、借りたくても借りられない。
- ・雇用調整助成金については、中小・零細企業ではまだ認知していない事業所も相当ある。また、制度は認知していても、助成金の支給タイミングが明確でないため、当該制度を前提にした従業員への休業要請に二の足を踏んでいるようだ。また、事業所の規模が小さいと雇用調整助成金が支給されないと聞く。
- ・雇用調整助成金の助成拡大の規定や特例措置の内容が分かりづらい。
- ・20 代のフリーター・フリーランスから SOS が複数寄せられている。自分たちの世代でもわかりづらい国の支援策が、このような若者たちにしっかりと届くような仕組みを検討してほしい。
- ・撮影がキャンセルになり、現在進行形のプロジェクトも停止したまま。契約書があるわけではないので、表面上はもともと収入ゼロであり、プロジェクトや撮影が中止・キャンセルになってもゼロのまま。国の持続化給付金について、いつの何と比較して売り上げ減を認定するのか

早く示してほしいし、上記のような事例があることも認識してほしい。

- ・低所得者などに給付も必要だが、自分は自営業で家のローンなどがある。これからどうすればいいかわからない。
- ・閉店要請が来ても、休業補償がないと閉店できない。福岡も東京のような独自の補償制度は創設してほしい。

(2) 労働者の声

- ・消費税でも何でもいい。とにかく減税してもらえないか。
- ・現金給付の条件や申請手続きがよく分からない。
- ・一律給付や家賃の減額をしてほしい。
- ・パートで働いていたが、現在仕事がなく休業を余儀なくされている。コロナが収まった際に働いてもらいたいからか、解雇にはいたっていない。解雇されれば、雇用保険給付が受けられるのに、当面の収入がなくなり困窮している。
- ・就職活動に影響が出ている。就職活動中の大学生にも何らかの補償をしてもらいたい。
- ・母子世帯の高校生で、家計を助けるためにバイトをしているが、飲食業・ホテルでのバイトができなくなり、困っている。児童手当には1万円加算されるが、高校生にはない。学生にも支援してほしい。
- ・元々、歩合制で給与を支給しているため、売上が減ると同時に給与の支給も減るため、会社が気にしていないことに問題がある。実質的に最賃を割っているケースも発生している。いっそのこと、休業させて雇用調整助成金相当分をもらった方がよい。

(3) 共通

- ・公的支援も色々あるのかもしれないが、複雑で分からない。もっと分かりやすい広報がほしい
- ・とにかく民間企業へのスピーディーな対応が必要。特に、給料が減って生活が困窮している人や、休業要請の対象となった業界へは迅速に対応すべき。

3. 市政に対する声

- ・福岡市財政は観光客で成り立っていた。来年の税収は相当気がかり。今年も不安があるが、来年度の税収低下によって公共サービスの質が低下しないかが心配。
- ・市長は中心部(天神・博多)しか見ていないのではないか。
- ・今まで頑張ってきたが、どんたくの中止が決定打になった。何とか開催できなかったのか。
- ・福岡県が緊急事態宣言の適用地域にするよう申し出たみたいだが、商売人としては正直困惑している。市はどういう考えだったのか。

以上